

二、情報出版企業として

⑨ 科学技術情報事業部(中)

富田部長と七名の侍

科学技術情報事業部という第三の事業を立ち上げるにあたり、何はともあれ、まずは抄録者を募集する必要があった。〇〇氏、〇〇氏との会話から、優秀な抄録者はいかに多く確保できるかが成功の決め手となること、そしてライフサイエンスおよび環境分野の需要が今後多くなることなどが予測された。抄録者のリクルート手段は、毎月一万通にもなるセミナーDMが効果的だった。語学に長けた専門家をDMで募集するのは初めての試みだったが、過去約十五年間のDM事業の経験を通して、結果は多少なりとも見通せるものであった。当時は環境分野のセミナーを積極的に開催していたが、その他の領域にもDMが行き渡るよう工夫した結果、平成六(一九九四)年七、八月の二カ月だけでDMによる応募総数は五十名を数えた。ほとんどが企業や大学の第一線の研究者・技術者であるというレベルの高さのみならず応募者の数や分野の多様さが、当社のリクルート力の強さを証明し、前述のすき間分野を埋める潜在力を十分持つとJICSTに評価されたと思われる。現在リーダーとして活躍いただいている〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇の各氏は、この時期にDMでご応募いただき本事業の草創期から現在に至るまで強力な牽引力となっていたに違いない。さらに九、十月の二カ月のDMで五十名の応募があり、応募総数は百名を超えた。十一月には、計百名の応募者を専門部門ごとに配置し、各部門の

売上げを予想した今後五年間の事業計画書を提出するに至った。

翌平成七(一九九五)年二月、事業説明会の連絡を受け、実質的に指名登録業者に選定された。二月九日の事業説明会には私と〇〇部長が出席したが、東芝や住友化学等、我が国を代表するそうそうたる顔触れが参加していた。同年三月二日に指名登録の手続きを行なった後の二十四日、JICSTから一枚のFAXが届いた。発注書と標記されているその内訳は、発注数三万三千件、発注金額は合計すると約一億円である。当時の会社の売上総額が二億円余りだったのだから、一桁違うのではと何度も数字を見直したものである。四月十一日、資格決定通知書を正式に受理すると同時に、営業部所属だった〇〇〇〇を科学技術情報事業部初代部長に任命し、本格的な事業体制の構築に取り組み始めた。

抄録作成業務は、論文を三百字前後に要約する抄録者と、その抄録を校閲し、キーワードの抽出と論文を分類するリーダーとで行なう。抄録・校閲・キーワード抽出・分類を合わせて一貫作業と呼ぶ。各部門リーダーは複数の抄録者の抄録を校閲し、キーワード抽出と分類を行なうだけでなく、自ら一貫作業を行なうこともある。リーダーに要求される専門知識と語学力は極めて高く、優秀なリーダーの存在が事業構築の要であった。

〇〇部長は事業構築にあたり、百名の応募者を受注部門に割り振ることと、各部門のリーダーの配置から始めた。抄録者の割り振りは比較的容易だったが、リーダーの選考は簡単ではなかった。作業時間を比較的自由に選択できる抄録者と異なり、リーダーは基本的に専任が条件だったためである。選考の結果、百名の中からわず

か七名がリーダーに決定した。

必ずしも各自の専門分野の部門に配属することはできなかったが、最終的に、〇氏が応用化学部門(C3)、〇氏が地学・資源部門(G1)、〇氏が土木・建築部門(AI)およびG1の二部門、〇氏が環境公害(K1)、生物科学(C4)、医学・薬学(C5)の三部門を担当、残る三名が金属・工部門(G2)、物性・物理部門(P1)、無機・物理化学部門(C2)、農学・食品部門(C6)と、専門に偏らずあらゆる部門に対応できる体制をめざした。しかし一億円の発注内示に対し、実行計画はこれを大幅に下回り、初年度(一九九五年四月～一九九六年三月)の最終的な実行計画は受注金額の三分の一の三千五百万円となってしまう。

その後、七名のリーダーがJICSTでの二カ月間の研修を終えて実施体制が整った五月二十九日、〇〇部長の音頭で湯島の割烹「醍醐」に私を含め関係者全員が集結した。「私は皆様七名の侍とともに、これから新事業に船出する！」それが出陣に際しての〇〇部長の覚悟のことばであった。だが、専門分野との乖離が原因で、それから半年の間に残念ながら三名のリーダーが戦列を離れた。残る四名のリーダーが担当する部門も、必ずしも自分の専門分野ばかりではなかったが、未知の領域に果敢に取り組み、新たな知識の吸収に努め、今日の科学技術情報事業部の基盤作りにも多大な寄与をして頂いた。

こうして六月から本格的に新事業が稼働を始めたが、JICSTから一億円の発注書が届いた二日後の平成七年三月二十六日に、NTSは足掛け七年を過ごした鈴ビルを後にし、ヒラヤマビルへと転居したのである。

掲示板

営業部の移転について

営業部営業一課・二課は、三月五日からハイ・シティ湯島の201号に移転しました。近日中に、営業管理課及びエヌエスハティテックの分室も統合する予定です。

電話番号

FAX

社内清掃について

次の日程で床掃除を行ないますので、宜しくお願い致します。当日休日出勤の予定がある場合は作業に支障がありますので、必ず総務部に連絡して下さい。

本社事務所内 四月二十二日(日)
営業部内 四月二十一日(土)

編集後記

●プロ野球開幕になり我々巨人軍は今年も……、十月美酒に酔うことが……。(福)

●エイプリルフールにお花見に行く。ココはとっても穴場ではないトコよん。(の)

●でも、年々にも教えられるトコで、教えたくないトコよん。(の)

●昨年4月に入社しては1年。短いようで本当に短かった1年でした。来年の4月も多分こう思うんだろうな。(む)

●物持ちの良さでは有名(悪名高い?)な私。部屋には二十年前のバカでかいステレオ、オーブンリールデッキ、8ミリ映写機……と、さながら骨董品店。せめて本人が商品と化さないように頑張りたいです。(な)

●楽しみにしていたフリマ。校前にピツタリあたり残念ながら中止。中止の模様は最近作ったHPにて報告しようかな。エイエこの際だから、フリマも雨の心配ないネットでもやるのかな。調査さん、一緒にどうですか?(い)

NTSニュース二〇〇一年三号(通巻二十九号)
二〇〇一年三月三〇日発行